

## ここが知りたい！防災特集 ～想定し、備えよう！～

PTA よりお知らせ

9月よりPTA役員会において『防災部』が位置付けられました。今後、学校と保護者が連携し、取り組んでいく予定です！！

裏面の校長室だよりに掲載してあるとおり、9月15日（金）に地震避難訓練を実施しました。実施するにあたっては、「…な時、どうするか？」「…な状況になったら、こうなるかもしれない」と、様々な状況を想定し、計画を立て、準備を進めてきました。保護者の皆様、天草学園の先生方にもご協力いただき、子どもたち一人一人に防災リュックを準備していただき、ありがとうございました。今月は、防災特集として避難訓練を終えての気づきも踏まえて、3つの視点でお伝えしたいと思います。

### 知りたい！その1 「防災リュックの中身」

飲食物、着替え、衛生用品、カップ、娯楽用品、防暑(寒)用品等、子どもの実態に応じて準備されていました。

#### Q1：食料の種類は？食べやすさは？

→子どもさんの実態によって異なりますので、平常時に実際に食べてみるのが大切です。おかゆ等のレトルト系の食料は、プラスチックコップとスプーンがあると容器を持って食べやすそうでした。缶に入った長期保存可能なパンや水を入れて50分程度でできるアルファ米、手軽なお菓子やグミ、カロリーメイト等も多く見られました。

#### Q2：災害時、衛生面はどうなるの？

→被災された方の話によると、トイレ、歯みがき、入浴等の衛生面の課題について想定して準備しておくべきだと言われます。「簡易トイレ」「歯ブラシ」「ウェットティッシュ」が入っているとよいですね。

#### Q3：避難中の過ごし方は？

→テレビもない、ゲームもない・・・そんな状況でも、お気に入りのマンガ、絵本、大好きな塗り絵、友達と遊べるトランプ、安心できる小さなぬいぐるみ等、準備していた娯楽用品で避難時間を過ごしていました。安心グッズは必須ですね。



### 知りたい！その2 「避難生活での困り事」

熊本地震後のアンケートによると、避難所に入れずに車中泊をした家庭が全体の65%もありました。

避難生活での困り事という項目で多い順に紹介すると、①食事 ②トイレ ③衛生・入浴 ④子どもの不安定 ⑤避難者との関係という結果でした。以下、自由記述より抜粋したものを紹介します。この教訓をどう活かすか？自分のことに置き換えて考えてみましょう。

- ・日頃から地域の人と交流しておくことの大切さを痛感した
- ・母親が息子を男子トイレに連れて行くのは大変だった
- ・車内や自宅にいたため、物資が届かなかった
- ・子どもの障がいについて理解されず出て行けと言われた
- ・避難所で文字情報が少なかった
- ・胃ろうからの注入が避難所でできなかった
- ・福祉避難所を必要とする人たちの避難ができていなかった

### 知りたい！その3 「児童生徒の引き渡し」

昨年に引き続き今回の避難訓練でも、実際の被災を想定して、避難後の児童生徒引き渡しも行いました。万一の際、誰が迎えに行くのか、事前に明確にしておく必要があります。保護者がどうしても迎えに行けないときはどうするのか？というところまで想定しておかなくてはなりません。

訓練と分かっているにもかかわらず、自分の名前が呼ばれ、外に出て、保護者の方の顔が見えた瞬間、どの子どもも「あ～、よかった・・・」と安心した表情をしていました。実際の状況下では、混乱することも想定されますが、今回のような訓練を繰り返し、できるだけ落ち着いて行動できるようにしたいですね。



### 10月の 主な予定



10/2(月)天草ピカピカ大作戦 全校集会  
10/15(日)であいふれあいフェスタ  
10/20(金)天草拓心高校交流、漢字検定  
10/25(水)不審者対策訓練

10/10(火)めばえ寄席 10/12(木)本町小交流  
10/19(木)お話し会:中  
10/24(火)天草クリーンカンパニー:中